

MESH準備編

MESHのテプラをはりましょう

MESHブロックにそれぞれテプラで番号をはり、iPadとセットで使用できるようにしましょう



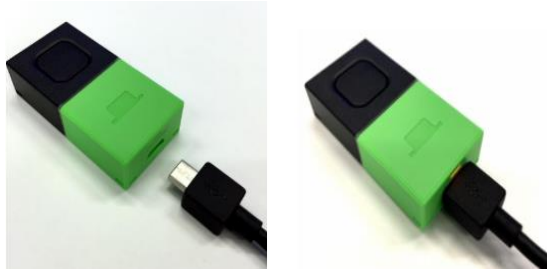
iPadは充電しておきましょう

授業で使用するiPad1~8(予備も準備)は事前に充電をしておきましょう

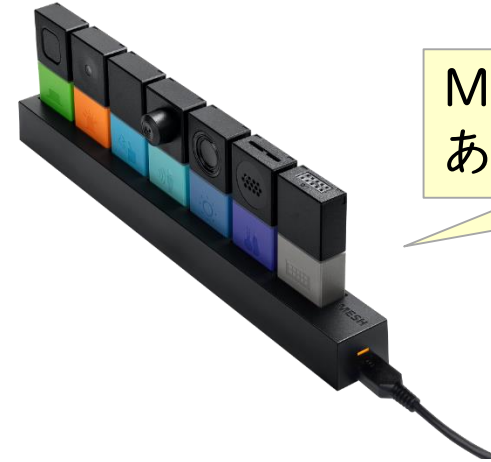


MESHブロックの充電をしましょう

USBケーブルをさして充電しておきましょう



ケーブル・USBハブなど
があると、まとめて充電出
来て便利です



MESH専用充電器なども
あります



残量の確認方法



緑：50%以上



黄：30%以上



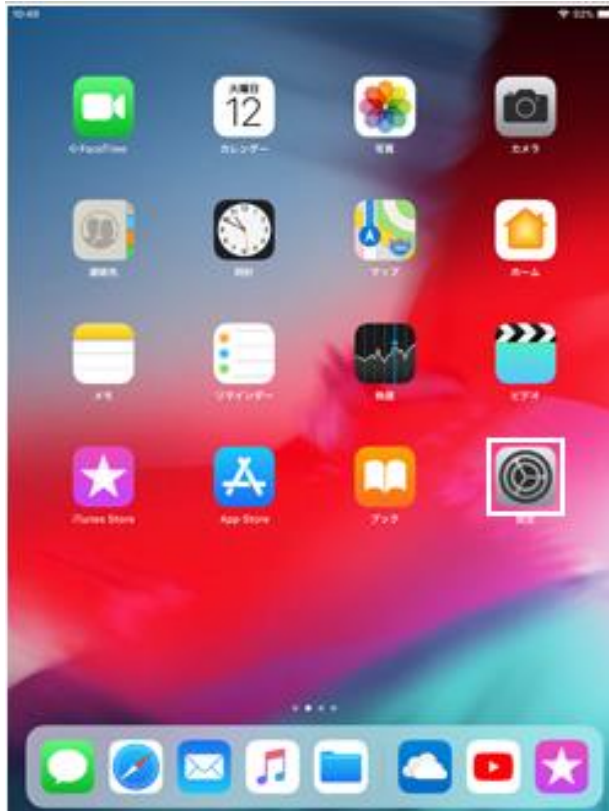
赤：30%未満



光らない：0%

iPadのOSを最新にしておきましょう

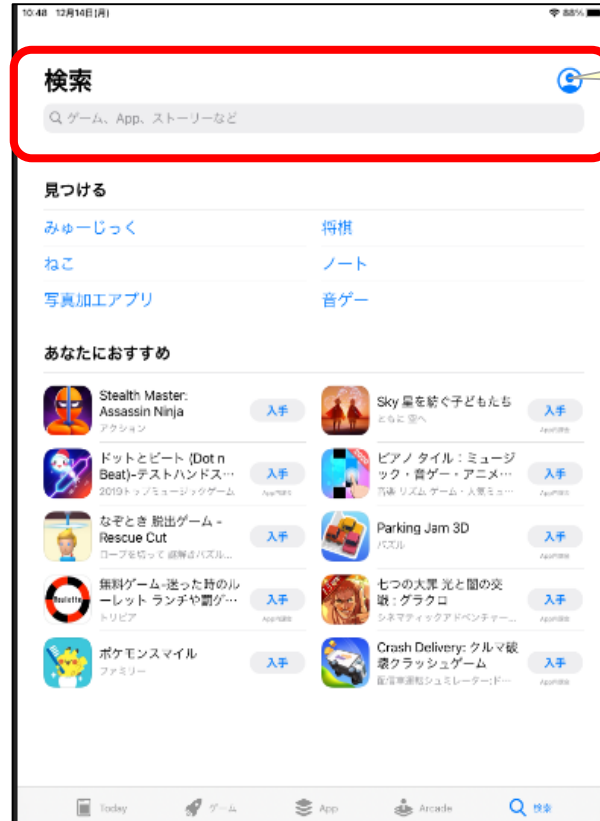
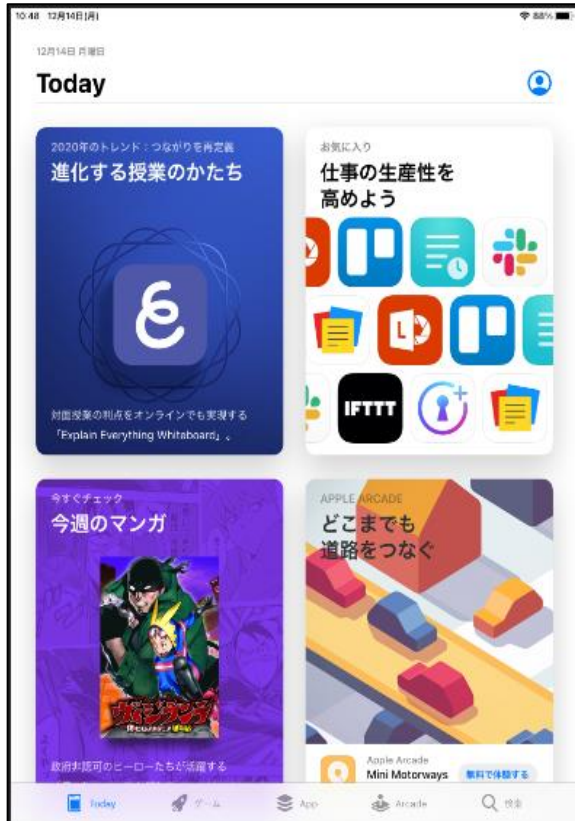
- ・学校のiPad (×7台) を準備します
- ・iOSのバージョンを最新にしましょう



アップデート時に**AppleID**が必要になります。
1台ずつ別々のIDが発行されていますので、情報担当者(ピンクファイルのとじ込み)を確認してください

MESHのアプリの準備をしましょう

- ・MESHのアプリを最新にアップデートしましょう
(アプリがない場合はインストールしましょう)



MESHと入力して
アプリを
検索します



※WEBで詳細マニュアル公開中



人感センサー用の筒を準備しましょう

人感センサーは近くに反応してしまうので、筒を作って使用しましょう



※WEBで詳細マニュアル公開中

命令のタグ一覧を印刷しておきましょう

各ブロックの命令の一覧（2時間目に利用）を
グループに配布できるように準備しておきましょう

両面印刷してパウチ
などすると便利です

人感センサーの命令



人感 感知したら → センサーが動きを感知した時に次の命令へ進む
人感 感知しなくなったら → センサーが動きを感知しなくなった時に次の命令へ進む
人感 状態を確認する → 設定した条件（感知した/しない）になっていれば次の命令へ進む

明るさセンサーの命令

明るさ 明るさが変わったら → 明るさ変化があった時に、設定した明るさの範囲(1~10)になっていれば次の命令に進む
1~10 で明るさを設定

明るさ 明るくなったら → 暗い所から明るくなった時に実行

明るさ 暗くなったら → 明るい所から暗くなった時に実行

明るさ 明るさを確認する → 設定した明るさの条件(1~10)になっていれば次の命令へ進む
1~10 で明るさを設定

GPIO の命令

GPIO 電源出力 → プログラムスイッチを ON/OFF する
ON OFF

MESH ブロックの電源 ON

①ブロックを長押しします→白く光ったら手をはなす
②ブロックをもう一度押して緑に光ったら OK



ブロック電源 ON で
該当のタグのマークが消えます

MESH ブロックの電源 OFF

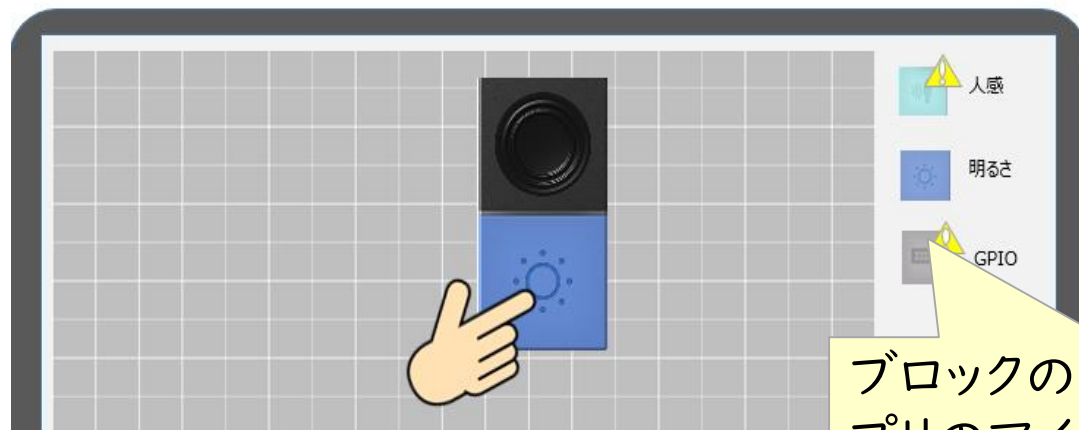
アイコンを長押しで電源を OFF しましょう

※もう一度ピッと押して光らなければ電源は OFF になっています

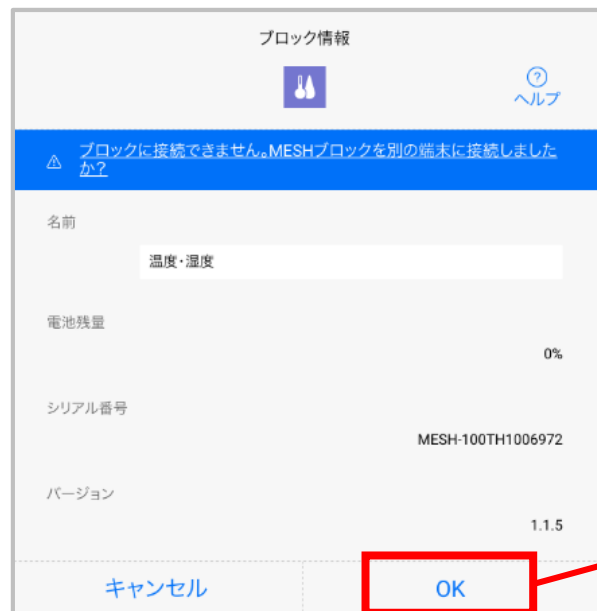


MESHとiPadのペアリングをしましょう

事前にiPadとMESH(同番号)をペアリングしておきましょう



ブロックの電源を入れるとアプリのアイコンのビックリマークが消えて、接続完了



戻る

ペアリング

キャンセル

OK